



春日井市地域公共交通計画 とは？

春日井市内を走る、電車やバス、タクシーなど、みんなが利用できる交通（＝公共交通）をどのように走らせるとみんなが便利につかえるかを考えた2025年度までの計画をつくりました。

春日井市地域公共交通計画 とは？



春日井市地域公共交通計画

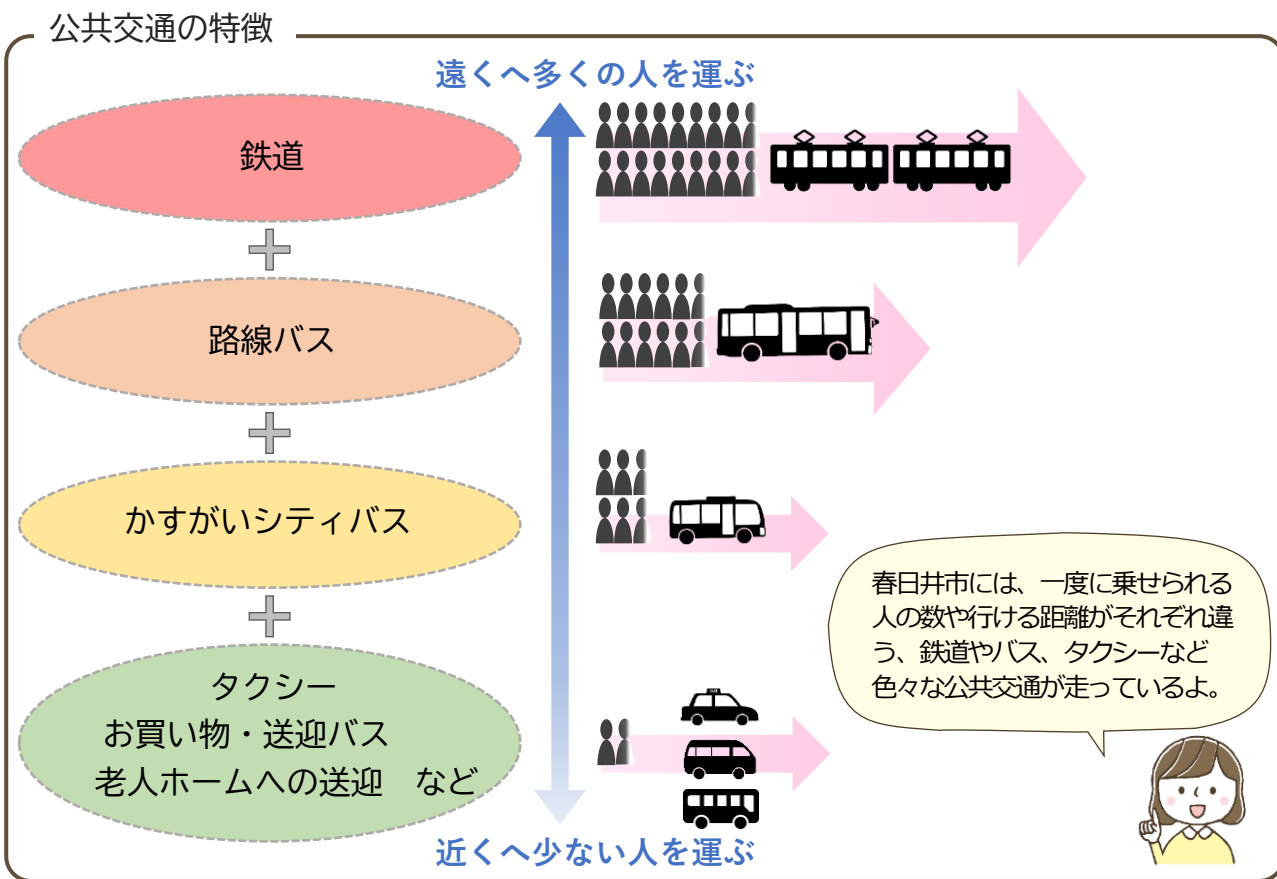
[地域公共交通網形成計画]

2021年1月

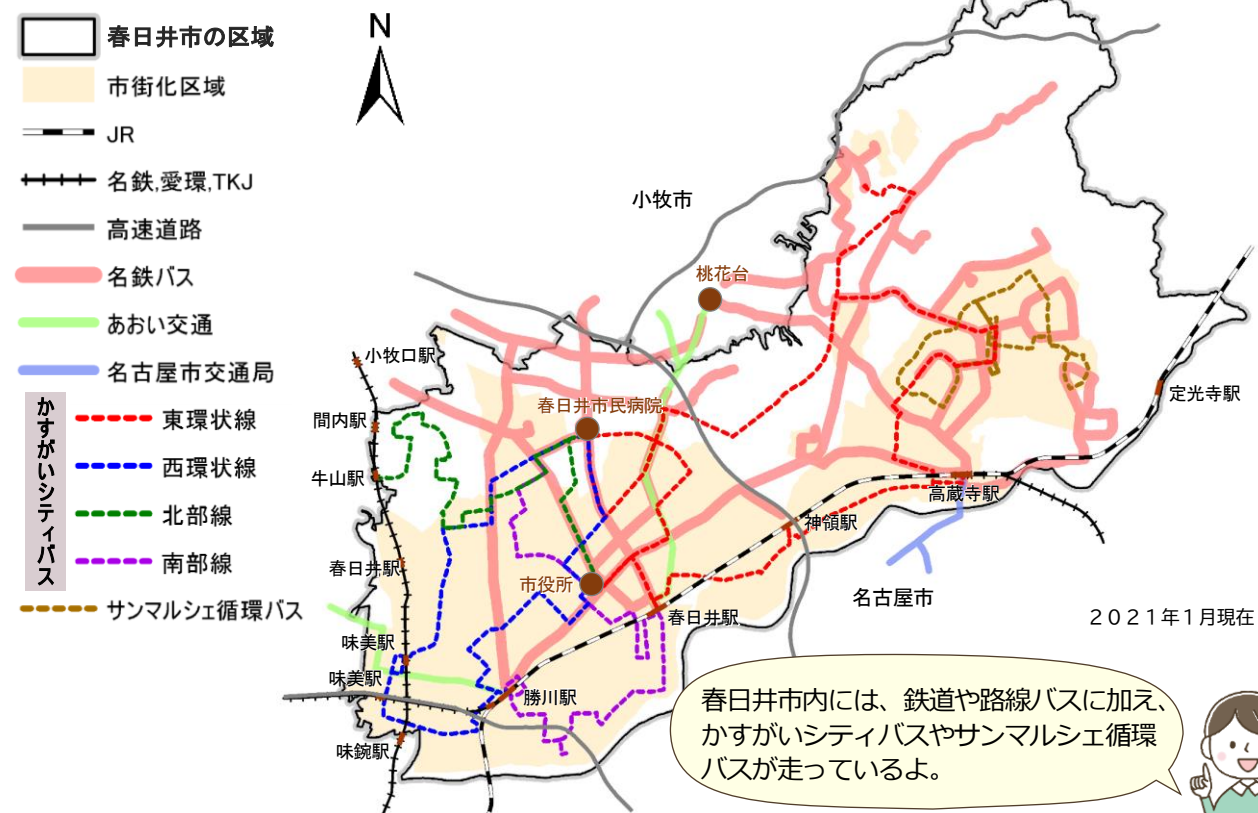
心地よくつながる公共交通網
～より暮らしやすい“ライフタウン”春日井へ～

春日井市の公共交通ってどうなっているの？

● 春日井市にはこんな公共交通があります



○ 春日井市内を走る公共交通の状況



● 春日井市の公共交通はこんな課題を抱えています

市外へのお出かけに便利な鉄道を上手に使いたい

通勤や通学のために、多くの人が鉄道で市外へ行き来しているよ。これからも、どんどん使っていきたいね。



駅やバス停（路線バス）が近くにない地域がある

病院やスーパーが遠くにある地域では、自動車が運転できない人は困ってしまうよ。そんな人たちのための移動手段を考えないといけないね。



バス・タクシーの運転手が不足している

バス・タクシーを運転する人がいないと、車を走らせることができなくなってしまふよ。運転手になる人が減ってしまい困っているんだ。



公共交通を多くの人に使ってほしい

公共交通を使う人が減ってしまうと、バスの本数が減ったり、路線がなくなったりしてしまうよ。みんなが公共交通を使えるようにすることが大事だね。



目標1 鉄道や路線バスを上手に使って、便利に移動できるネットワークをつくる

鉄道やバスが近くにあると便利なので、新しく住む場所を選ぶときに重要なポイントにもなっています。

春日井市は、便利な鉄道や路線バスがあり、人口の多いまちへと発展することができました。これからも多くの人に住み続けてもらえるようなまちを目指し、鉄道や路線バスをずーっと使えるようにより便利にしていけます。

① 駅や駅前広場を使いやすくします

- ・ 鉄道駅のバリアフリー化を進めます(エレベーターなどの設置)



エレベーターがあると
駅内の移動が楽だわ。

スロープや
エレベーターの設置



階段は大変だから、
これまで鉄道の利用
を諦めていたんだ。



- ・ 駅周辺をつくりかえます

JR高蔵寺駅南口駅前広場整備イメージ



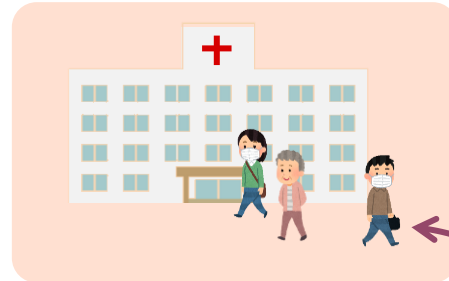
JR高蔵寺駅地下道整備イメージ



鉄道とバス・車への乗り換えがスムーズになったり、
自転車や歩きで安全に駅の周りを移動できるようになるよ。



② 使いやすい路線バスを守り、まちでの暮らしを支えます

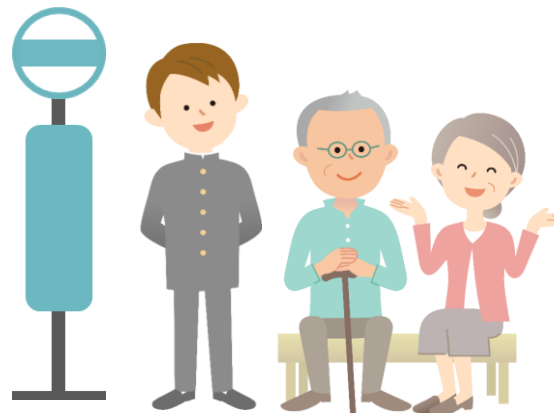


バスは、住宅地と駅や病院、商業施設をつなぐ
移動手段として、みんなの暮らしを支えているよ。



③ 安心して待てるバス停を考えます

(例) 屋根付きのバス停



雨の日でも快適だね。



資料：岐阜市ホームページ

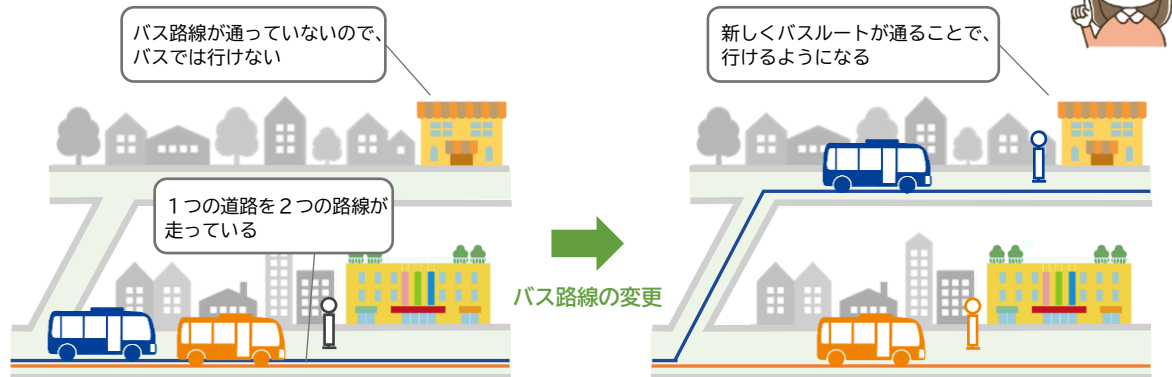
目標2 鉄道や路線バスが近くにない地域では、いろいろな乗り物を組み合わせて外出できるようにする

春日井市は、今後お年寄りが増えると予測されており、自動車を運転しない人も増えていくと考えられます。このため、自動車を使わなくても買い物等に出かけられるようにすることが求められています。

道がせまいところでもスムーズに走ることができるように、小型のバスや普通自動車を使ったり、地域の人や会社と助け合って乗り物を走らせて、公共交通を使って外出できるようにします。

① かすがいシティバスを効率よく、利用しやすくします

(例) 重複していたバスのルートを変えることで、バスで行ける場所を拡大



② その地域に合った移動手段を考えます

ワゴン車やタクシー車両を使って公共交通を走らせる



ワゴン車による公共交通の実証実験を行った「はあとふるライナーミニ」

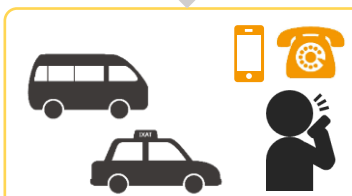


大きな車両では入れないせまい道を走れるワゴン車で、お年寄りなど自動車を運転しない人が買い物や病院に出かけられるような移動手段はあるよね。

電話による予約型のオンデマンド交通の導入



希望の時間にバス・タクシーを予約する



効率的に配車が可能

③ バス以外にもいろいろな会社などと協力して市民の移動を支えます

介護が必要な人の移動を助けるサービス 少ない人数を『ドアツードア』で運ぶタクシー



スーパーへ買い物客を乗せるバス



バス停の場所などが決まっておらず、出発地から目的地までをそのままつなげることを『ドアツードア』といいます。

家からバス停や駅まで歩かなければならないのが、負担に感じていたの。目的地へ直接行けるのは嬉しいわ。



④ 新しい技術を使った乗り物を走らせます

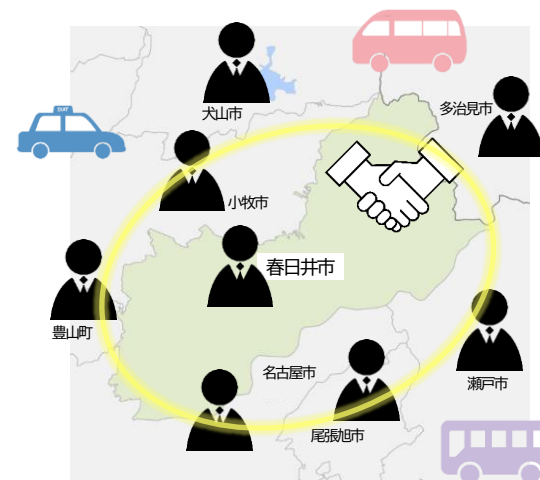
自動運転車両の実証実験



相乗りタクシーの実証実験



⑤ とんりの市と協力して便利な公共交通にします



春日井市だけでなく、周辺の市とも協力して、より便利な公共交通の体制をつくろう。



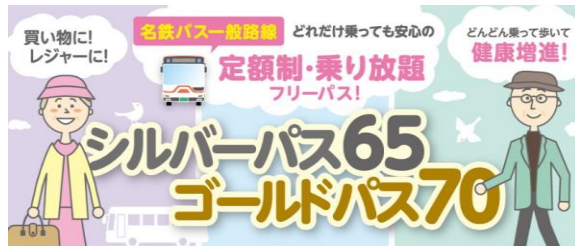
目標3 公共交通をみんなで支える

春日井市にあるいろいろな公共交通を将来にわたって運行し続けるには、市民や地元の会社、バス・タクシー会社、大学、市役所などのいろいろな人が協力し、運転手不足の解決といった活動に取り組みながら、より多くの人に使ってもらえるようにすることが必要です。

① 色々な割引のしくみを作り、広くお知らせします

妊婦さんや運転免許を返した人、お年寄りに対するバス料金の割引

65歳以上のお年寄りへバス乗り放題パスの提供



公共交通をお得に利用できる割引が色々あるね。車を持つよりお得かも！

65歳以上、70歳以上だと、名鉄バスの一般路線全線が定額で乗り放題になりお得だね！

② 運転手不足の解決にみんなで取り組みます

(例) 大型車運転手を身近に感じてもらう体験会



資料：愛知運輸支局

女性ドライバーの積極的な募集

③ バスやタクシーを知ってもらうイベントを行います

タクシーの利用を体験するイベント



初めてタクシーに乗ったり、「タクシー運転手さんの1日」の動画をみたりしたよ。運転手さんってかっこいいね！



④ いろいろな方法で乗り物の情報をお知らせします

春日井市内の全ての鉄道、バス路線を見ることができるマップ



バスがいつバス停に来るのかがスマホですぐわかる「春日井バスロケ」

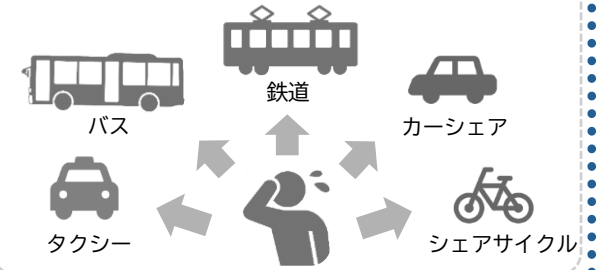
QRコードを読み取って、使ってみよう！

「バスはいつ来るの？」がすぐわかる！
携帯電話、スマートフォンでQRコードを読み取るだけ！

1. バス停のURLが表示され、そのURLにアクセスします。
2. 利用開始のQRコードが表示されます。
3. そのバス停の運行情報を見ることができます。
4. 利用開始のQRコードをスマートフォンで読み取り、利用開始します。

⑤ スムーズに乗り換えするしくみを考えます

現在は、バラバラに目的地までの行き方を調べ、予約し、支払いをしています



「目的地までの行き方調べ」「予約」「支払い」が一度にできるアプリ



⑥ みんなで公共交通を支えるしくみをつくります

地域の交通の話し合い



(例) バスを気軽に待てるお店などの登録促進



資料：埼玉県HP

みんなで話し合いをして、地域に合った公共交通について考えよう！



計画の目標値

春日井市では、より良い公共交通づくりを進めていくため、5年後の目標値を設定しています。この目標値を使って、目標1～3の取組みが計画的、効果的に行われているかをチェックします。



みんなもこの目標の達成に向けて、公共交通について考えたり、色々なイベントに参加したり、公共交通にもっと乗ってみたりしてみよう！新しい発見があるかも・・・！

目標 1

鉄道や路線バスを上手にを使って、便利に移動できるネットワークをつくる

目標 1 の評価指標		現況値と目標値 (2025 年度)		
1	1日あたりの乗降客が3,000人以上の駅がバリアフリー化されているか	66% (2019年)	増加 →	100%
2	市内を走るバスの1年間あたりの利用者の合計	5,403千人 (2019年)	維持 →	5,415千人

目標 2

鉄道や路線バスが近くにない地域では、いろいろな乗り物を組み合わせて外出できるようにする

目標 2 の評価指標		現況値と目標値 (2025 年度)		
3	駅やバス停から歩いて行ける距離に住んでいる市民の割合 ※歩いて行ける距離 → 駅：800m、バス停：300m	93% (2019年)	増加 →	95%
4	駅やバス停から歩いて行ける距離に住んでいるお年寄りの割合 ※歩いて行ける距離 → 駅：800m、バス停：300m	83% (2019年)	増加 →	85%
5	シティバスの運行に必要な費用に対する収入の割合	23% (2019年)	維持 →	23%
6	アンケートによる交通の便利さに対する市民の満足度	2.53 (2016年)	増加 →	2.80
7	地域に合う新しい乗り物を取り入れた数	0件 (2020年)	増加 →	5件

目標 3

公共交通をみんなで支える

目標 3 の評価指標		現況値と目標値 (2025 年度)		
8	バスを利用した市民の割合	28% (2017年)	増加 →	31%
9	バスを利用したお年寄りの割合	29% (2017年)	増加 →	35%